

65歳以上の患者の入院早期の栄養アセスメント実施割合

65歳以上の退院患者数	分母のうち、入院後48時間以内に 栄養アセスメントが実施された患者数	65歳以上の患者の入院早期の 栄養アセスメント実施割合
6,230	4,347	69.78%

算出方法：
$$\frac{\text{分母のうち、入院後48時間以内に栄養アセスメントが実施された患者数}}{\text{65歳以上の退院患者数}} \times 100 \quad (\%)$$

※集計対象：令和7年6月1日から令和8年5月31日までの期間に退院し、一般病棟に1回以上入院した患者

※栄養アセスメントとは：患者・高齢者などの栄養状態を多面的に評価し低栄養や過栄養の有無・リスクを明らかにすること

【指標の説明】

高齢者は低栄養リスクが高いことで、入院期間の延長、合併症増加、再入院率上昇、死亡率増加に直結しています。そのため、入院直後に栄養状態を評価し、必要に応じて栄養介入を行うことが推奨されています。低栄養リスクを早期に把握し、予防や回復促進に繋げるための医療の質評価を努めております。